

# 地域医療支援病院業務報告書

令和 5 年 9 月 28 日

## (申請先)

横浜市長 山中 竹春 殿

申請者 住所 横浜市中区本町2丁目22番地 京阪  
横浜ビル4階

氏名 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
理事長 吉川 伸治

〔 法人の場合は、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話 045-651-1229

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和 4 年度の業務に関して報告します。

### 1 開設者の住所及び氏名

住所	〒231-0005 横浜市中区本町2丁目22番地 京阪横浜ビル4階
氏名	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 理事長 吉川 伸治

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

### 2 病院名

フリガナ	カナガワケンリツコドモイリョウセンター
病院名	神奈川県立こども医療センター

### 3 所在地

〒232-8555 横浜市南区六ッ川2-138-4 電話：(045)711-2351
--

### 4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
40床	0床	0床	0床	390床	430床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	<p>(主な設備)</p> <p>病床数 ICU10床</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液ガス分析装置 1台</li> <li>・電動ベッド(スケール付) 10台</li> <li>・除細動器 1台</li> <li>・セントラルモニターシステム 1台</li> <li>・ベッドサイドモニター 10台</li> <li>・人工腎臓装置 2台</li> <li>・経皮酸素モニター 2台</li> <li>・製氷機 1台</li> <li>・ACT測定器 1台</li> <li>・ネブライザー 8台</li> <li>・ドップラー 1台</li> <li>・ペースメーカー(体外式) 3台</li> <li>・無影灯 1台</li> <li>・アイノフロー 4台</li> <li>・N2装置 1台</li> <li>・心電図 1台</li> <li>・アニメック 2台</li> <li>・オープンクベース 1台</li> <li>・新生児・小児用低体温療法装置 1台</li> <li>・メディサーム 2台</li> <li>・ブランケットロール 1台</li> <li>・搬送用ストレッチャー 1台</li> <li>・搬送用モニター 2台</li> <li>・FFP解凍器 1台</li> <li>・低速シェーカー 4台</li> <li>・冷蔵庫(血液血漿用1台、医薬品用1台、ミルク用1台) 3台</li> <li>・冷凍庫(輸血用、アイスノン用) 2台</li> <li>・救急カート 1台</li> <li>・包帯交換車 1台</li> <li>・温乳器 1台</li> </ul>
化学検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床化学自動分析装置 3台</li> <li>・酸素免疫測定装置 1台</li> <li>・多項目自動血球分析装置 1台</li> <li>・血液凝固分析装置 1台</li> <li>・免疫比濁分析装置 1台</li> <li>・赤血球沈降速度測定器 1台</li> <li>・アンモニア測定装置 1台</li> <li>・骨髓検査データ解析装置 1台</li> <li>・冷凍冷蔵庫 3台</li> <li>・冷蔵庫 1台</li> <li>・冷凍庫 4台</li> <li>・超低温冷凍庫 2台</li> <li>・保冷室 1台</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷却遠心器 5台</li> <li>・遠心器 3台</li> <li>・安全キャビネット 1台</li> </ul>
細菌検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物分類同定分析装置 1台</li> <li>・全自動滅菌機構付きCO2インキュベータ 1台</li> <li>・インキュベータ 6台</li> <li>・バイオハザード対策用キャビネット 2台</li> <li>・全自動細菌同定感受性検査装置 1台</li> <li>・血液培養自動分析装置 1台</li> <li>・冷凍冷蔵庫 2台</li> <li>・冷蔵庫 1台</li> <li>・遠心器 2台</li> <li>・顕微鏡 1台</li> <li>・全自動核酸抽出増幅検査システム 1台</li> <li>・小型高圧蒸気滅菌器 1台</li> <li>・パスボックス 1台</li> </ul>
病理検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顕微鏡 3台</li> <li>・実体顕微鏡 2台</li> <li>・蛍光顕微鏡 1台</li> <li>・ディスカッション顕微鏡 2台</li> <li>・透過型電子顕微鏡 1台</li> <li>・パラフィン伸展機 3台</li> <li>・クリオスタット 1台</li> <li>・マイクローム 3台</li> <li>・密閉式自動固定包埋装置 1台</li> <li>・パラフィン包埋ブロック作成装置 1台</li> <li>・プッシュプル型廃液槽付流し台 1台</li> <li>・プッシュプル型撮影台ブース 1台</li> <li>・プル型ストッカー 1台</li> <li>・自動染色装置 2台</li> <li>・UV撮影装置 1台</li> <li>・パラフィン溶融機 1台</li> <li>・冷凍冷蔵庫 2台</li> <li>・冷蔵庫 1台</li> <li>・冷凍庫 2台</li> <li>・超低温冷凍庫 1台</li> <li>・上皿電子天秤 2台</li> <li>・卓上遠心器 5台</li> <li>・pHメーター 1台</li> <li>・マグネチックスターラー 2台</li> <li>・組織固定振とう器 1台</li> <li>・恒温槽 2台</li> <li>・ミニゲル電気泳動装置 3台</li> <li>・サーマルサイクラー 3台</li> <li>・ヒートブロック 2台</li> <li>・ホットプレート 1台</li> <li>・光触媒環境浄化装置 3台</li> <li>・プッシュプル型換気装置 1台</li> <li>・マイクロウェーブ迅速試料処理装置 1台</li> </ul>

病理解剖室	(主な設備) <ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖台 2台</li> <li>・遺体冷蔵庫 1台</li> <li>・ストレッチャー 1台</li> <li>・器具保管庫 1台</li> <li>・冷凍冷蔵庫 1台</li> <li>・体重計 1台</li> <li>・上皿電子天秤 3台</li> <li>・超低温冷凍庫 1台</li> <li>・ホワイトボード 1台</li> <li>・臓器撮影装置 2台</li> </ul>
研究室	(主な設備) 臨床研究室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務机 7台</li> <li>・プリンター 3台</li> <li>・ホワイトボード 1台</li> <li>・電子レンジ 1台</li> <li>・本棚 4台</li> <li>・空気清浄機 1台</li> <li>・科研関連蔵書 20冊</li> </ul> 解析機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーマルサイクラー 8台</li> <li>・リアルタイムPCR装置 2台</li> <li>・質量分析装置 2台</li> <li>・クリーンベンチ 2台</li> <li>・安全キャビネ 1台</li> <li>・超低温フリーザー 5台</li> <li>・バイオアナライザー 1台</li> <li>・卓上型次世代シーケンサー 1台</li> <li>・マイクロアレイ解析装置 1台</li> <li>・デジタルPCR装置 1台</li> </ul>
講義室	室数 1室 収容定員 100人
図書室	室数 1室 蔵所数 32,000冊程度 雑誌 26,000誌
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 45.9㎡ 【共用室の場合】

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	$① / ② - (③ + ④ + ⑤)$	101.0%
	①紹介患者数	8,662人
	②初診患者数	9,015人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	164人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	278人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	$⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)$	74.7%
	⑦逆紹介患者数	6,404人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	127人	歯科医師	5人	看護師	77人
薬剤師	18人	臨床検査技師	30人	臨床工学技士	7人
診療放射線技師	16人	保健師	3人	看護補助者	26人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	HCU1床
専用病床	ICU1床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用 の可否
救急外来	266.51m <sup>2</sup>	(主な設備) ・無影灯 1台 ・カウンターショック 1台 ・超音波診断装置 1台 ・救急医療カート 1台 ・人工呼吸器 1台 ・ベッドサイドモニター 2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	464.82m <sup>2</sup>	(主な設備) 中央手術室7室 ・手術用生体情報管理システム 1台 ・人工心肺装置 1台 ・手術台(アンギオ用1台含む) 8台 ・麻酔器 7台 ・麻酔器システム(ガスモニター) 7式 ・中央監視装置 1式 ・無影灯(大) 3台 ・無影灯(小) 3台 ・LED無影灯 8台 ・血液ガス分析装置 1台 ・患者監視装置 4台 ・バイポーラ電気メス 7台 ・ハーモニック 1台 ・超音波メススミソニックキューサー 1台 ・ターニケット 2台 ・ウォッシャーステリライザー 3台 ・顕微鏡(移動式) 4台 ・ストルツプレミア(白内障硝子体吸引装置) 1台 ・超音波診断装置 2台 ・内視鏡ユニット 3台 ・腹腔鏡ユニット 2式 ・気管支鏡ユニット 1式 ・気管支ファイバーセット 1式 ・エックス線イメージ装置 1台 ・ポータブルエックス線装置 1台 ・除細動器 2台 ・高低温体温調整装置(メディサーム) 8台 ・自己血回収装置(エレクター) 1台 ・サージアトーム 2台 ・パワープロ 2台 ・マイダスレックスハイスピードドリル 2台 ・誘発電位検査装置 3台 ・内視鏡洗浄消毒装置 1台 ・輸血冷凍冷蔵庫 2台 ・滅菌手洗いシステム 1式 ・高圧蒸気滅菌器 3台 ・エチレンオキシドガス滅菌器 1台 ・プラズマ滅菌器 1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

		循環器手術室2室 ・手術台(シネアンギオ透視台含む) 2台 ・シネアンギオ装置 1式 ・無影灯 5台 ・麻酔器 2台 ・滅菌手洗いシステム 1式 ・除細動装置 2台 ・高低温体温調整装置(メディサーム) 2台 ・電気メス 1台	
集中治療室	392.08㎡	(主な設備) ICU10床 ・ICU生体情報管理システム 1台 ・血液ガス分析装置 1台 ・電動ベッド(スケール付) 10台 ・セントラルモニターシステム 1台 ・ベッドサイドモニター 10台 ・人工腎臓装置 2台 ・経皮酸素モニター 2台 ・製氷機 1台 ・除細動器 1台 ・ACT測定器 1台 ・ネブライザー 8台 ・ポータブル吸引機 1台 ・ドップラー 2台 ・ペースメーカー(体外式) 3台 ・無影灯 1台 ・アイノフロー 4台 ・心電計 1台 ・アメニック 2台 ・メディサーム 2台 ・ブランケットロール 1台 ・搬送用モニター 2台 ・輸血加湿装置 3台 ・血液振盪器 4台 ・冷蔵庫 (血液血漿用、医薬品用、ミルク用各1台) 3台 ・救急カート 1台 ・包帯交換車 1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
輸血・緊急検査室	約125.6㎡	(主な設備) ・全自動輸血検査装置 1台 ・チューブシーラー 1台 ・自動血球洗浄遠心器 2台 ・血小板振盪器 1台 ・BTD×2システム 1台 ・遠心器 7台 ・恒温槽 2台 ・浸とう恒温槽 1台 ・保冷库 5台 ・超低温フリーザー 2台 ・冷凍庫 2台 ・無菌接合装置 1台 ・血液凝固分析装置 1台 ・臨床化学自動分析装置 1台 ・多項目自動血球分析装置 1台 ・血液ガス分析装置 2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンモニア測定装置 1台</li> <li>・薬用保冷庫(保冷庫+フリーザ) 1台</li> <li>・全自動遺伝子解析装置 2台</li> <li>・クリーンブース 2台</li> </ul>	
放射線検査室	1, 752.67㎡	(主な設備) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューター断層(CT)撮影装置 1台</li> <li>・磁器共鳴断層(MRI)撮影装置 2台</li> <li>・エックス線撮影装置 3台</li> <li>・移動型エックス線撮影装置 6台 (H1、各病棟、NICU、手術室、ICU)</li> <li>・エックス線テレビ装置 2台</li> <li>・エックス線規格装置 1台</li> <li>・エックス線全顎撮影装置 1台</li> <li>・エックス線血管撮影装置(心臓用) 1台</li> <li>・エックス線血管撮影装置(頭部、腹部、一般併用) 1台</li> <li>・移動型外科用透視撮影装置 1台</li> <li>・核医学検査装置(SPECT併用) 1台</li> <li>・放射線治療装置 1台</li> <li>・放射線治療計画装置 1台</li> <li>・位置決め用コンピューター断層(CT)撮影装置 1台</li> <li>・超音波診断装置 1台</li> <li>・エックス線骨密度測定装置 1台</li> </ul>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

#### 4 備考

神奈川県周産期救急システム基幹病院として患者の受入れ体制確保  
NICU 27床  
MFICU 6床

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

##### (1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	525人
	(158人)
上記以外の救急患者の数	2,997人
	(290人)
合計	3,522人
	(448人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A : 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B : 救急医療圏(2次医療圏)人口 <sup>※</sup>	3,768,363人
C : $A/B \times 1,000 > 2$	0

※2022年4月1日時点の人口

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	3施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	3施設
医療機器共同利用件数	0件
共同利用病床数	0床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器					
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>		
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
核医学診断装置(RI)	<input type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input checked="" type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>		
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>		
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>		
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他( )	<input type="checkbox"/>		
手術室	<input checked="" type="checkbox"/>	病床	<input type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>
				会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0件
	無	921件

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件一開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙参照(2022年度地域の医療従事者に対する研修実績)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	41回
(2) (1)の研修参加者数	2,114人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(3) 研修指導者数	26人	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	142.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)36台、椅子100脚、スクリーン、 ホワイトボード、演台(マイク付)、プロジェクター、 ビデオ、パーテーション、マイク設備(アンプ、 スピーカー)、シャーカステン
会議室	108.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)32台、椅子74脚、スクリーン、 ビデオ2台、プロジェクター1台、マイク設備
会議室	70.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)11台、椅子35脚、ホワイトボード、 スクリーン、シャーカステン
画像カンファレンス室	66.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)6台、椅子25脚、黒板(ホワイトボ ード)、プロジェクター、ビデオ3台、スクリーン、 シャーカステン、PC8台、プリンター
カンファレンス室	54.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)8台、椅子40脚、ホワイトボード、 テレビ、ビデオ、スクリーン、PC2台、マイク設備

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	副院長	
管理担当者(役職名)	医事課長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院日誌 総務課</li> <li>○各科診療日誌 外来</li> <li>○その他諸記録               <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院中の患者 病棟</li> <li>・外来の患者 医事課</li> <li>・退院した患者等 病歴管理室</li> </ul> </li> </ul>	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課長
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携室
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	医事課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	副院長		
閲覧担当者(役職名)	医事課長		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、医事課		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	2回
委員会における議論の概要	
地域医療支援事業運営委員会 第1回 2022年12月 書面報告 ○2021年度 事業実績報告について ○2022年度 事業活動状況について ○2021年度 地域医療支援病院業務報告書の提出について ○「COVID19によるこども医療センターへの影響及び発生状況について」  地域医療支援事業運営委員会 第2回 2023年3月 書面報告 ○2022年度 事業活動状況について ○「コロナ禍の薬品供給不安について(薬剤科)」	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
	「その他」記入欄 病棟・外来など
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	保健師3名、非常勤看護師2名、非常勤OT1名、 非常勤ST1名、非常勤保健師1名、 MSW常勤4名、契約1名、非常勤1名
患者相談件数	8,803件

患者相談の概要

地域連携・家族支援局(患者家族支援部・地域保健推進部)では患者や家族が安心かつ安全に社会生活が続けられるよう、次のような医療的、社会的及び精神的支援を行っている。

○相談・支援により患者やその家族の不安の軽減

○在宅療養を継続するための関係機関との連携

○在宅医療、在宅支援の推進

受診相談	304件	病気の理解に関する援助	439件
他機関からの患者問合わせ	44件	問題整理・課題明確化援助	492件
医療制度	270件	傾聴・心理的支持援助	421件
医療費問合わせ	39件	家族関係・家庭生活に関する調整援助	1,025件
福祉サービス	123件	グリーフケア・ターミナルケア	18件
療育サービス	43件	対経済、生活支援サービスの制度紹介援助	989件
リラの家	36件	関係機関の紹介援助(医療機関、施設、訪看、通訳)	833件
訪問看護ステーション	32件	就園、就学、復学援助	262件
医療機関	38件	当院利用、受診、受養援助	1,120件
レスパイト・医療評価入院	52件	苦情、その他	21件
在宅ケア	71件		
患者会・家族会・ピアサポート	31件		
保育・教育・育児	73件		
通訳	1,377件		
宿泊	0件		
兄弟の相談	9件		
家族の相談	6件		
その他	635件		
小計①	3,183件	小計②	5,620件
合計①+②			8,803件

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 受講日:2020年1月		

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	地域医療連携室だより年3回発行 ・2022年7月発行(第48号) 誰もが知ってほしい「緩和ケア」他 ・2022年11月発行(第49号) こんにちは 栄養サポートチームです 他 ・2023年3月発行(第50号) こどもは国の宝、こども医療センターは神奈川県之宝 他		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	・集中治療、専門医療を必要とした退院困難要因を有する患者について、退院に向けた意思決定を支援し、在宅医療を継続するための調整を行う ・退院困難ケースを早期に把握し、院内外と協議しながら退院支援、調整を行う		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容			
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組			

## 共同利用の手続等について

### 1 登録医の一般的留意事項

登録医は、次に掲げる事項を遵守するものとする。

- (1) 登録医は、患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為の指示を直接行うことはできず、担当医を介して行うものとする。
- (2) 患者（家族）への説明は、担当医と協議して行うものとする。
- (3) 登録医が来院するときは、担当医に連絡するものとする。
- (4) 登録医は、地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター（以下、センターという）の慣行、取決め等に従うものとする。

### 2 外来・入院診療及び手術への参加手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて外来・入院診療及び手術に参加する場合は、様式第1号の共同診療・手術参加申し込み書を提出しセンターの承認を得るものとする。
- (2) センター総長は、申し込みのあった共同診療・手術参加を承認したときは、様式第2号の参加承認証を交付する。
- (3) 共同利用の可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。
- (4) 登録医は、前条で定める事項を遵守するほか次の条件のもとで共同診療及び手術へ参加することができる。
  - ア 登録医がセンターで共同診療及び手術に参加することについて患者（家族）が同意していること。
  - イ 担当医は、センターの医師であること。
  - ウ 登録医は、患者の病状に応じてセンターに来院し、患者の状態を把握すること。ただし、手術への参加はこの限りでないこと。
  - エ 登録医の診療時間は、原則として休日と土曜日を除く午前9時から午後5時までとすること。ただし、手術への参加は手術の時間内とすること。
  - オ 登録医は常にセンターからの連絡が受けられる手段を確保するものとする。

### 3 診断機器の利用手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて診断機器の利用を行いたい場合は、様式第3号の機器利用申し込み書を提出しセンターの承認を得るものとする。

- (2) センター所長は、申し込みのあった機器利用を承認したときは、様式第4号の利用承認証を交付する。
- (3) 共同利用の可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。

《診断機器の利用の流れ》

- 1 地域の医療機関がこども医療センターに検査（CT、MRI、超音波、核医学）の依頼を行う。
- 2 こども医療センターで検査を（CT、MRI、超音波、核医学）を行う。
  - (1) 検査の形
    - ・ア 造影剤の使用（希望・不要）
    - ・イ 検査の際の鎮静（要・不要）
  - ※ どのような方法で行うかは担当医が決定します。
  - (2) 来院の形
    - ・ 患者とその家族のみでの来院
    - ・ 依頼した医療機関の医師、看護師が同伴して来院
    - ・
  - (3) 検査結果
    - ・ 結果はすべて読影して戻す。

#### 4 病理解剖の依頼手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて病理解剖を依頼したい場合には、様式第5号の申込書を提出しセンターの承認を得るものとする。
- (2) センター総長は、申し込みのあった病理解剖を承認する場合は様式第6号の承認証を交付する。
- (3) 受け入れの可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。

様式第1号

年 月 日

## 共同診療・手術参加申し込み書

地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター総長 様

申請者 住 所  
医療機関名  
医 師 名  
電 話 番 号

印

下記の患者に係る共同診療（外来・入院） ・ 手術への参加を申し込みます。

記

患者氏名		生年月日	
住 所			
保護者名		電話番号	

様式第2号

## 共同診療・手術への参加承認証

(医療機関名)

(医 師 名)

様

患者名 \_\_\_\_\_ に係る共同診療（外来・入院） ・ 手術への参加については承認します。

年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター総長



様式第4号

## 診断機器利用承認証

(医療機関名)

(医師名)

様

申し込みのありました診断機器の利用については、承認します。

平成 年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター総長

様式第5号

平成 年 月 日

## 病理解剖申込書

地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター総長 様

申請者 住 所  
医療機関名  
医 師 名  
電 話 番 号

印

下記の患者の病理解剖について申し込みます。

記

患者氏名		生年月日	
住 所			
保護者名		電話番号	

様式第6号

## 病理解剖依頼承認証

(医療機関名)

(医 師 名)

様

患者名

に係る病理解剖については承認します。

平成 年 月 日

地方行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター総長

令和4年度 地域の医療従事者に対する研修実績

参加者内訳

内容	対象者	日程	テーマ	参加者内訳			
				参加者	院内	院外	
小児科セミナー							
20回	若手小児科志望 研修医 地域医療機関医師	9月3日 (土) 9月4日 (日)	小児科の先生が知っていると得をする小児外科の知識と技術 明日の当直から役に立つ救急室でのアレルギー-EBM 小児感染症 ケーススタディー 新生児の神経学的診察 小児の栄養サポート 小児科医が知っておくべき遺伝の知識 新生児・小児の心エコー入門	外科 アレルギー科 感染免疫科 新生児科 栄養サポート 栄養サポート 遺伝科 新生児科	24	0	24
小 計				24	0	24	
NST勉強会							
	医師 看護師等	通年	令和3年度後期以降、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。その後はウェブ上で通年、小児栄養オンラインサロンで情報を共有している。https://kcmc-nst.com/nst/小児栄養オンラインサロン/				
小 計				353	0	0	
KCMC胎児遠隔症例報告会							
24回	医師 助産師 看護師等	4月22日 (金) 17:30～ 19:30	1. 「胸腔鏡下根治術を行った先天性左横隔膜ヘルニアの症例」 神奈川県立こども医療センター 外科 2. 「新しい NICU コンセプト」～集中治療と家族支援の両立を目指した環境作り～ 神奈川県立こども医療センター 新生児科 3. 「動脈管ステントを経てノーウッド・グレン手術に至った左側相同の症例」 循環器内科 心臓血管外科 4. 「卵円孔狭窄が疑われた、僧帽弁閉鎖・両大血管右室起始症例」 循環器内科 心臓血管外科 5. 「両半月弁下心室中隔欠損を伴う、大動脈縮窄複合の症例」 循環器内科 心臓血管外科		72	20	52
25回	医師 助産師 看護師等	7月29日 (金) 17:30～ 19:30	1. 「後頭部脳瘤と鑑別を要した羊膜素症候群の1例」 脳神経外科 2. 「胎児診断空腸閉鎖の1例」 外科 3. 「エプスタイン病に対し乳児期に三尖弁形成を行った症例」 循環器内科 心臓血管外科 4. 「胎児期に small LV を呈し、出生後二心室循環が成立したが、乳児期に休息に僧帽弁狭窄・大動脈弁狭窄が進行した症例」 循環器内科 心臓血管外科 5. 「重複大動脈弓・血管輪で、胎児エコーで高度気管狭窄が疑われた症例」 循環器内科 心臓血管外科		61	29	32
26回	医師 助産師 看護師等	10月28日 (金) 17:30～ 19:30	1. 「頸部リンパ管腫の胎児診断画像と出生後経過の比較、プレオマイシンによる硬化療法」 新生児、外科 2. 「重症肺動脈弁狭窄の症例」 循環器内科 心臓血管外科 3. 「肺動脈閉鎖・心室中隔欠損・主要体肺側副動脈の症例」 循環器内科 心臓血管外科 4. 「心室中隔欠損が狭小化した、ファロー四徴症の症例」 循環器内科 心臓血管外科		57	18	39
27回	医師 助産師 看護師等	1月27日 (金) 17:30～ 19:30	1. 「胎児診断された食道閉鎖の1例」 産婦人科 新生児科 外科 2. 「胎児診断された四肢短縮症」 産婦人科 新生児科 3. 「心房中隔欠損のない左心低形成症候群の症例」 循環器内科 心臓血管外科 4. 「横隔膜ヘルニア、部分肺静脈還流異常を合併し、グレン手術の際に肺動脈内隔壁作成術を要した左心低形成症候群の症例」 循環器内科 心臓血管外科 5. 「両大血管右室起始症に心臓脱を合併した症例の続報」 循環器内科、心臓血管外科		84	30	54
小 計				274	97	177	

看護集談会						
第89回 看護集談 会	医療従事者	2022年 6月26日 (日) 13:30～ 16:10	講評：日本赤十字看護大学 名誉教授・客員教授 座長：4階西病棟 ・母性病棟 ・母性病棟 《 研究発表 》 <input type="checkbox"/> 1. 児童思春期精神科病棟における熟練看護師の退院支援プロセスについて 第1報 ～子どもの支援で大切にしていること～ こころの診療病棟 <input type="checkbox"/> 2. 児童思春期精神科病棟における熟練看護師の退院支援プロセスについて 第2報 ～家族の支援で大切にしていること～ こころの診療病棟 <input type="checkbox"/> 3. 死期が迫った脳腫瘍の子どものエンド・オブ・ライフケアに求める家族のニーズ ～遺族となった両親へのインタビューの1事例から～ 5階西病棟 <input type="checkbox"/> 4. 小児専門病院における重症心身障害児の生活環境に対する看護師の認識と保育士との連携について 4階西病棟 《 実践報告 》 <input type="checkbox"/> 5. 小児の腹臥位手術における顔面の褥瘡を予防する取り組み 看護局兼スキンケア・褥瘡相談室 <input type="checkbox"/> 6. 『神奈川こどものこころの看護交流会』の発足と第1回開催報告 ～「明日への活力になる会」を目指して～ こころの診療病棟 <input type="checkbox"/> 7. コロナ禍における新人看護師への支援 ～2021年度の支援の実際と評価～ 看護教育科	38	-	-
第90回 看護集談 会	医療従事者	2022年 11月19日 (土) 13:30～ 16:30	講評：神奈川県立保健福祉大学 小児看護学 教授 座長：看護教育科 ・感染制御室 《 研究発表 》 <input type="checkbox"/> 1. ICUで働く看護師の退院支援に対する認識 ICU病棟 <input type="checkbox"/> 2. 小児専門病院の看護師の妊娠期から育児休業・復職支援までのニーズの検討（第2報） ～復職した看護師が感じる困難感から～ 4階西病棟 《 実践報告 》 <input type="checkbox"/> 3. 産後指導の見直しと改善 ～患者の負担を減らし、個別性のある産後指導を目指して～ 母性病棟 <input type="checkbox"/> 4. 長期入院後に特殊カニューレを導入して在宅移行した1例を通して ～在宅移行への意思決定支援～ 母性病棟 <input type="checkbox"/> 5. オンライン病院説明会の開催結果と評価 看護教育科	46	-	-
小 計				84	0	0
KCMC小児看護エキスパートナースコース						
	エキスパート ナースコース受 講者	5/26(木) 10:00～ 13:00	1. こども医療センターにおける現状と役割 2. 看護専門職種としてのキャリア開発 総長 教育担当	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	6/16(木) 9:30～ 12:10	1. エキスパートナースコースに期待される小児看護の視点 2. 小児看護に関する動向・政策・診療報酬 副院長兼看護局長 小児看護専門看護師	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	7/5(火) 9:30～ 12:40	1. 子どもの権利と倫理 2. 児童虐待 3. レポート作成の基礎知識 小児看護専門看護師 母子保健推進室 家族支援専門看護師	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	7/22(月) 9:30～ 12:40	1. 小児のフィジカルアセスメント 2. 看護におけるリーダーシップ 新生児集中ケア認定看護師 特定行為研修修了者 5階南病棟	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	8/9(火) 9:30～ 12:40	1. 研究に関する知識① 2. 看護理論 神奈川県立保健福祉大学 家族支援専門看護師	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	9/1(木) 9:30～ 12:10	1. リソースナースの役割 2. 家族支援 新生児集中ケア認定看護師 家族支援専門看護師	15	6	9

	エキスパート ナースコース受 講者	9/20(火) 9:30～ 12:40	1.小児における感染症と対策 2.チームアプローチ ～チーム医療の推進者として～ 3.コミュニケーション	感染管理認定看護師 小児看護専門看護師 臨床心理士	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	10/27(木) 9:30～ 12:40	1.研究に関する基礎知識② 2.小児の成長発達	神奈川県立保健福祉大学 小児看護専門看護師	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	11/14(月) 9:30～ 12:40	1.体位調整・在宅支援 2.終末期にある小児に関する看護 3.遺伝カウンセリング	退院・在宅医療支援室 小児看護専門看護師 認定遺伝カウンセラー	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	12/13(火) 9:30～ 12:40	1.急性期にある小児に関する看護(周手術期を含む) 2.発達・精神障害のある小児の看護 3.AYA世代の看護	ICU病棟 こころの診療病棟看護師 クリーン病棟	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	1/18(水) 9:30～ 12:40	1.周産期に関する看護①(妊娠期～産褥期の看護) 2.周産期に関する看護②(NICUでの看護) 3.子どもの緩和ケア	母性病棟 助産師 新生児集中ケア認定看護師 緩和ケア認定看護師	15	6	9
	エキスパート ナースコース受 講者	2/7(火) 9:30～ 12:40	1.小児に必要なスキンケア 2.移行期支援 3.重症心身障害児に関する看護	小児アレルギーエデュケーター 糖尿病看護認定看護師 認定重症心身障害看護師	15	6	9
小 計					180	72	108
小児緩和ケアセミナー							
44回	医療関係者	令和4年7 月19日 (火) 18:00- 19:25	テーマ:「がん以外の疾患をもつ子どもたちに緩和ケアを届けるために大切にしたいこと」 講 師: 医師(国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科 診療部長)		82	31	51
45回	医療関係者・一 般	令和4年10 月16日 (火) 13:00- 14:30	テーマ:「すべての子どもたちに笑顔を!～これからの時代のきょうだい支援～」 講 師: 医師(一般社団法人Yukuri-te代表理事/亀田総合医療センター 小児科部長)		86	63	23
46回	医療関係者	令和4年10 月16日 (火) 13:00- 14:30	テーマ:「すべての子どもたちに笑顔を!～これからの時代のきょうだい支援～」 講 師: 医師(一般社団法人Yukuri-te代表理事/亀田総合医療センター 小児科部長)		79	24	55
47回	医療関係者	令和5年2 月2日 (木) 18:00- 19:00	テーマ:地域における小児緩和ケアを考える ～「横浜子どもホスピスへうみとそらのおうち」の取り組みから～ 講 師: (認定NPO法人 横浜子どもホスピスプロジェクト がん看護専門看護師)		82	34	48
小 計					329	152	177
神奈川県小児がん従事者研修							
1回	医療従事者	5月17日 (火)	「神経芽腫」 講師:血液・腫瘍科医師		95	29	66
2回	医療従事者	7月14日 (火)	「小児がんとゲノム医療」 講師:血液・腫瘍科医師		90	28	62
3回	医療従事者	9月20日 (火)	「小児・AYAがんの妊孕性について」 講師:血液・腫瘍科医師		68	38	30
4回	医療従事者	10月18日 (火)	「造血細胞移植時の看護」 講師:クリーン病棟看護師		57	28	29

5回	医療従事者	11月15日 (木)	「小児がんと栄養」 講師：管理栄養士 「歯科の立場から見た小児がん患者」 講師：歯科医師		46	26	20
6回	医療従事者	12月20日 (火)	「小児がんのリハビリテーション」 講師：リハビリテーション科医師 「小児がんにおける薬剤師のかかわり」 講師：薬剤師		52	25	27
7回	医療従事者	1月17日 (火)	「小児がんの学習支援～相談員の立場から～」 講師：医療福祉相談室ソーシャルワーカー 「小児がんの学習支援～教員の立場から～」 講師：横浜南養護学校教員		38	14	24
小 計					446	188	258
小児保健研修（神奈川県健康増進課と共催）							
1回	神奈川県に勤務する母子保健従事者	10月3日～ 11月30日	①「低出生体重児の身体の特徴と成長発達」 ②「NICU・新生児病棟での退院支援」 ③「母乳育児支援のポイント」	新生児科部長 新生児集中ケア認定看護師 国際認定ラクテーション・コンサルタント 新生児科	視聴回数 ①472 ②337 ③369	-	-
小 計					0	0	0
小児保健支援者研修会							
1回	神奈川県内の母子保健や保育、教育に従事している支援者	11月14日 ～1月29日	①「こどものコロナワクチン接種について」 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科分野教授 ②「こどもの心のセルフケア～親子でできること」 国立成育医療研究センターこころの診療部	心理療法士	視聴回数 ①133 ② 91	-	-
小計					0	0	0
地域小児保健支援者研修会（横須賀市と共催）							
1回	神奈川県内の母子保健や保育、教育に従事している支援者	12月15日 ～1月18日	「精神疾患のある保護者への支援～母親へのかかわり方について～」 東京医科歯科大学大学院精神科准教授		視聴回数 960	-	-
小計					0	0	0
小児在宅医療実技研修会							
1回	地域の在宅療養児者支援者	6月24日 (金)	テーマ 「心疾患」 ～複雑心奇形の病態と管理～ (Web配信) 講義 1. 複雑心奇形の病態生理と管理～同じ病名なのに管理が違う？～ 2. 内服の注意点と当院で行っている内服指導について 3. 質疑応答	循環器内科： ハイケア救急病棟2： 医師 看護師	83	24	59
2回	地域の在宅療養児者支援者	7月29日 (金)	テーマ 「こどものフィジカルアセスメント」 (Web配信) 講義 1. 生理機能に応じたフィジカルアセスメント～小児特有の急変時の特徴と対応～ 2. 在宅で看護師ができるフィジカルアセスメント 3. 質疑応答	循環器内科： 4西病棟： 医師 看護師	74	14	60
3回	地域の在宅療養児者支援者	11月20日 (日)	テーマ 「気管切開をしている子どもの起こりうる緊急事態とその対応」 こども医療センター (体育館) 講義 1. 気管切開をしている子どもの起こりうる緊急事態とその対応について 2. 質疑応答 実技演習 1. 胸骨圧迫 2. カニューレ交換 3. 緊急時対応 4. グループディスカッション	地域連携・家族支援局長： 医師	17	0	17
小 計					174	38	136
地域医療支援事業研修会							
	地域医療機関向け		開催休止		-	-	-
小 計					0	0	0

小児在宅医療を支える支援者交流会							
	地域の在宅療養 児者支援者	9月30日 (金)	テーマ 「コロナ禍で考える多職種連携 ～医療的ケア児の支援を意識して～」 1. 講義 2. 質疑応答・意見交換	副看護局長/退院・在宅医療支援室室長 小児看護専門看護師： 看護師	78	16	62
小 計					78	16	62
小児在宅医療連携カンファレンス							
	地域の在宅療養 児者支援者	10月27日 (木)	テーマ 「子どもの在宅緩和ケアを広げよう ～病院でも地域でもその子らしくいられるための多職種連携を考える～」 1. 話題提供 ① 小児緩和とは ② 小児がんの在宅の現状 血液腫瘍科： ③ 医療的ケア児の小児緩和チームの関わりを振り返る ④ 医療を必要とする子どもと家族を地域で支える訪問診療医の立場から 2. 意見交換 3. まとめ	緩和普及ケア室： 医師/小児がん相談支援室： 緩和ケア認定看護師： みらい在宅クリニック院長： 地域連携家族支援局長： 医師 看護師 看護師 医師 医師	105	22	83
小 計					105	22	83
新人看護職員研修公開講座							
新人看護 職員研修 補助事業	小児看護に携わ る新人看護職員 及び、その指導 的役割を担う看 護職員	10月6日	【公開講座：新人看護職員研修補助事業】 「1年目を知っておきたい小児看護のキホン」 第1回（オンライン開催） ①院内感染対策のキホン ②子どもの皮膚ケア ③子どものフィジカルアセスメント	(感染管理認定看護師) (皮膚排泄ケア認定看護師) (新生児集中ケア認定看護師) (エキスパートナースコース修了生)	36	6	30
新人看護 職員研修 補助事業	小児看護に携わ る新人看護職員 及び、その指導 的役割を担う看 護職員	11月22日	【公開講座：新人看護職員研修補助事業】 「1年目を知っておきたい小児看護のキホン」 第2回（オンライン開催） ①手術を受ける子どもの看護 ②小児病棟からの退院支援・移行支援 ③成長発達を踏まえた看護展開 事例を通して	(手術看護認定看護師) (糖尿病看護認定看護師) (新生児集中ケア認定看護師)	31	25	6
小 計					67	31	36
神奈川県周産期医療対策事業研修事業 ALSO プロバイダーコース in 横浜							
神奈川県 周産期医 療体制整 備計画に もつづく 研修事業	産婦人科医 救急科医 初期・後期研修 医 助産師 救命救急士 救急科看護師	-	開催休止		-	-	-
小 計					0	0	0
合 計					2,114	616	1,061